

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 平賀
コード番号 7863
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中前 圭司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上出 真太郎 TEL (03) 3991-4541
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,557	10.3	402	4.0	461	4.9	313	△6.1
2023年3月期第3四半期	6,850	8.2	387	△7.9	440	△1.9	333	18.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2024年3月期第3四半期	108.55 円 銭	— 円 銭
2023年3月期第3四半期	115.19 円 銭	— 円 銭

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第3四半期	7,315 百万円	3,720 百万円	50.9 %	1,290.97 円 銭
2023年3月期	6,586 百万円	3,369 百万円	51.2 %	1,166.69 円 銭

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,720百万円 2023年3月期 3,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	— 円 銭	0.00 円 銭	— 円 銭	30.00 円 銭	30.00 円 銭
2024年3月期	— 円 銭	0.00 円 銭	— 円 銭	— 円 銭	— 円 銭
2024年3月期(予想)	— 円 銭	— 円 銭	— 円 銭	30.00 円 銭	30.00 円 銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	3.2	460	0.2	530	1.3	370	△6.5	127.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,015,585株	2023年3月期	4,015,585株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,133,581株	2023年3月期	1,127,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,885,097株	2023年3月期3Q	2,895,744株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期貸借対照表	P. 5
(2) 四半期損益計算書	P. 7
第3四半期累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報	P. 8
(6) 重要な後発事象	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるマクロ経済環境は、新型コロナウイルス感染症による需要供給面への影響が解消しつつあるものの、消費者物価指数の上昇、各国の金融政策の変動に伴う景気減速の懸念、地政学リスクの高まりなど不透明感が一層増しております。

当社の主要クライアントである小売業界においては、物価上昇による消費者の購買意欲の低下や、業種・業態の垣根を超えた競争の激化、労働需要の逼迫、物流コストの増加など、一層の工夫と対応が求められる厳しい事業環境が続いております。

また、当社のサービスの一つである印刷事業の業界においても、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料の供給面での制約や価格の高騰など、引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社は2023年4月より、「小売流通の今日を見つめ、明日をデザインする。」を新たなミッションに掲げ、「Retail Tech Innovation 販促のあらゆる不満や不便、不足を解消し、小売の課題解決が日本一得意な会社へ」という中期ビジョンのもと、様々な施策の実行と検証を進めました。

営業面では、コンサルティングを通じて顧客の課題解決に共に取り組みました。具体的には、マーケティングデータに基づきターゲット別に販促手法を変えるアプローチや、販促効果の見える化できる効果検証サービスにより、販促施策の精度と効果の向上を支援しました。また、販促物の出稿・校正業務を一元管理するシステムの提案で、顧客の生産性改善もサポートしました。

このような付加価値の高いサービスを強化拡大することで、新規の顧客開拓や事業領域の拡大、既存顧客の囲い込みを進めました。

生産面では、当期8月より生産管理の強化と社内業務改善のために、新基幹システムNEXT-COREの稼働と、併せて決裁業務の電子化を進めました。更にRPAなどを活用して制作作業の省力化と品質チェックの自動化を進めることで、人的ミスを減少させるとともに、スタッフの負担軽減を進めました。

原材料等のコストアップに対しては、引き続き価格転嫁を含めた機動的なプライシングコントロールを実施するとともに、材料の購買手法や取扱い品目の見直しを実施しています。

人材面では、前期より人的資本形成と中長期の成長を見据えた、全社規模のリスキリング研修を実施しています。また、埼玉工場では、作業を分析してムリ・ムダ・ムラを無くすことを目的とした「生産革新プロジェクト」を進めております。

こうした人的・設備両面への積極的な投資により、業務の効率化と人材の育成を促進し、企業価値を向上させ利益を積み上げられる体制を整えております。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は新規顧客開拓や既存顧客への新商材の提案効果が現れた結果、75億57百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。

利益面では、第3四半期に入り付加価値の高いカテゴリーの売上拡大や、生産性改善が順調に進んだことにより、営業利益は4億2百万円(前年同四半期比4.0%増)、経常利益は4億61百万円(前年同四半期比4.9%増)、四半期純利益は3億13百万円(前年同四半期比6.1%減)となりました。

今後も、企業活動を通じて、小売の経営課題を芯から解決に導き、収益の増加と、新たな挑戦による成長への取り組みを継続し、持続的な成長が実現できる強い企業を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、43億30百万円(前事業年度末は39億91百万円)となり、前事業年度末と比べ3億38百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が1億45百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が3億70百万円、未収入金が86百万円、その他に含まれている前払費用が22百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、29億85百万円(前事業年度末は25億94百万円)となり、前事業年度末と比べ3億90百万円増加いたしました。その主な要因といたしまし

ては、有形固定資産が1億48百万円、無形固定資産が79百万円、投資有価証券が1億89百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、27億21百万円(前事業年度末は23億83百万円)となり、前事業年度末と比べ3億37百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、未払法人税等が15百万円、賞与引当金が80百万円、その他に含まれている未払金が38百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2億41百万円、電子記録債務が1億47百万円、その他に含まれている未払消費税等が16百万円、その他に含まれている未払費用が54百万円、その他に含まれている預り金が15百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、8億74百万円(前事業年度末は8億33百万円)となり、前事業年度末と比べ40百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金30百万円減少したものの、その他に含まれている繰延税金負債が78百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、37億20百万円(前事業年度末は33億69百万円)となり、前事業年度末と比べ3億50百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が2億26百万円、その他有価証券評価差額金が1億24百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,315,311	2,169,861
受取手形、売掛金及び契約資産	1,194,440	1,564,804
電子記録債権	51,799	57,991
商品及び製品	37,905	35,121
仕掛品	93,815	86,241
原材料及び貯蔵品	97,594	102,180
未収入金	152,616	238,980
その他	50,007	76,829
貸倒引当金	△1,609	△1,609
流動資産合計	3,991,880	4,330,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	340,582	338,341
土地	598,103	598,088
その他(純額)	384,448	534,762
有形固定資産合計	1,323,134	1,471,192
無形固定資産		
その他	80,657	160,353
無形固定資産合計	80,657	160,353
投資その他の資産		
投資有価証券	525,511	714,892
破産更生債権等	4,905	4,905
投資不動産(純額)	617,077	604,704
その他	48,431	34,370
貸倒引当金	△4,905	△4,905
投資その他の資産合計	1,191,020	1,353,967
固定資産合計	2,594,812	2,985,512
資産合計	6,586,693	7,315,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	700,355	942,196
電子記録債務	689,601	836,950
短期借入金	450,000	450,000
一年内返済予定長期借入金	40,512	40,512
未払法人税等	69,964	54,758
役員賞与引当金	21,107	15,867
賞与引当金	166,326	85,637
その他	245,555	295,172
流動負債合計	2,383,422	2,721,093
固定負債		
長期借入金	232,952	202,568
退職給付引当金	512,182	504,616
その他	88,257	167,066
固定負債合計	833,392	874,251
負債合計	3,216,814	3,595,344

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	415,947	415,947
利益剰余金	2,941,576	3,168,101
自己株式	△570,541	△570,579
株主資本合計	3,221,303	3,447,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	246,590	370,793
土地再評価差額金	△98,014	△98,014
評価・換算差額等合計	148,575	272,779
純資産合計	3,369,878	3,720,568
負債純資産合計	6,586,693	7,315,913

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	6,850,274	7,557,748
売上原価	5,372,019	5,965,258
売上総利益	1,478,254	1,592,490
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	353,219	427,630
賞与引当金繰入額	82,265	33,870
退職給付費用	8,242	9,350
役員賞与引当金繰入額	16,049	13,973
その他	631,234	704,808
販売費及び一般管理費合計	1,091,011	1,189,632
営業利益	387,243	402,857
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16,016	18,419
受取家賃	7,392	7,837
作業くず売却益	14,065	13,940
不動産賃貸収入	31,500	31,500
その他	10,085	7,905
営業外収益合計	79,060	79,603
営業外費用		
支払利息	6,954	4,314
不動産賃貸原価	14,820	14,810
その他	4,406	1,639
営業外費用合計	26,180	20,763
経常利益	440,123	461,697
特別利益		
投資有価証券売却益	25,765	181
受取補填金	2,000	-
特別利益合計	27,765	181
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産除却損	0	2,225
特別損失合計	0	2,228
税引前四半期純利益	467,888	459,650
法人税、住民税及び事業税	96,682	122,552
法人税等調整額	37,639	23,920
法人税等合計	134,322	146,473
四半期純利益	333,565	313,177

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報
当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

以 上